

不法録音物対策委員会

不法録音物対策委員会新リーフレット発行

不法録音物対策委員会は、この度「不法録音物撲滅キャンペーン」の一環として、日常の啓蒙活動に活用していくため、カラオケ教室以外の各種音楽教室の先生用として新しく「各種音楽教室先生用リーフレット」を作成しました。

また、今年3月で「カラオケ教室不法録音物対策委員会」の活動を終了し、4月から新たに「不法録音物対策委員会」として活動してきましたが、この機会に「カラオケ教室先生用リーフレット」と「一般（生徒）用リーフレット」もリニューアルしました。



9月上旬には、この3種類のリーフレットにポスターを加え、全国4,000のレコード店に配布する予定です。また、10月には全国3万の公民館にもリーフレットを発送すべく準備を進めています。

さらに、関係官庁をはじめ、関係団体、会員社関連の舞踊教室など関係各方面にこれらのリーフレットを送付し、不法録音物撲滅の活動にさらなる理解と協力を求めています。

不法録音物対策委員会 豊田市教育委員会主催の著作権講習会を開催

不法録音物対策委員会は、8月26日（日）、愛知県豊田市梅坪町の豊南公民館において開催された著作権講習会に講師として参加しました。この講習会は、豊田市教育委員会が日本歌謡師範連盟豊田支部との共催で開催したもので、当地のカラオケ教室や各種音楽サークルの関係者が参加しました。同委員会からは、（社）日本音楽著作権協会中部支部の加藤支部長、日本レコード協会特別業務部久松統括室長、名古屋調査室今井室長の3名が参加しました。

当日は午後1時から始まり、130名の出席者が同委員会からの説明に熱心に耳を傾けていました。

講習会では、委員会の設立経緯と現在までの活動状況の説明、著作権入門ビデオ・広報ビデオの上映、カラオケ教室・各種音楽教室に関連する著作権法の解説などが行われました。

引き続き行われた質疑応答では、カラオケ大会での楽曲のキーチェンジや、歌詞・楽譜の拡大コピーに関する質問が出ましたが、「不法録音物撲滅キャンペーン」の趣旨を説明し、出席者に理解と協力を求めました。また、出版・演奏に関する質問に対し、手続きする場合の具体的な申請方法にも触れた説明が行われました。出席者からは、ミュージックテープの曲順や頭出しの時間の統一などレコードメーカーへの要望も提案されました。親近感ある雰囲気の中、約3時間にも及ぶ講習会は成功裡に終了しました。

カラオケ教室不法録音物対策委員会（旧委員会）として約4年間の活動を通じ、全国80カ所以上の会場でこのような著作権講習会を実施してきましたが、今回は不法録音物対策委員会（新委員会）となって初めての地方自治体主催の講習会への参加となりました。

今後も当委員会は、積極的な啓蒙活動を推進し、今回のような教育委員会などによる講習会が多く開催されるよう、活動していきます。

ASID バージョン1.0規格 他

ASID バージョン1.0規格

IFPI（国際レコード産業連盟）、RIAA（アメリカレコード協会）及び当協会の各技術委員会では、国際的な協力のもとASIDの規格化を検討してきましたが、この度バージョン1.0規格が完成したため、7月19日付で連名にて発行しました。

ASIDはAudio Software Information Delivery（オーディオソフトウェアに関する情報伝送）の略で、あらゆる音楽コンテンツとともに常に伝送されるべき情報について、その項目とフォーマットを標準化する規格です。今回のバージョン1.0規格については、当協会技術委員会傘下のワーキンググループが作成を主導しました。

様々な音楽媒体（パッケージ、放送、配信など）や機器（プレーヤ、レコーダなど）などがASIDに対応することにより、それらで流通または利用される音楽コンテンツに関する権利を確実に識別することがASIDの目的です。そのため、バージョン1.0規格ではISRC、UPC/EAN（POS番号）など、識別に必要な最低限の情報の伝送方法を規定しています。将来のASID対応機器（またはアプリケーション）は、その種類に関わらず、統一されたフォーマットでISRCなどの情報を読み取ることが可能となります。

また、共通化された情報フォーマットを多くの音楽媒体がサポートすることにより、その提供者は、単一フォーマットのコンテンツ関連情報を複数の異なる音楽媒体に適用することが可能となり、最終的には情報リソースの効率化に繋がります。

これらを実現するためには、可能な限り多くの音楽媒体や機器においてASIDがサポートされることが必要ですが、ASIDは、先頃改訂されたIEEE 1394*の標準規格においてサポートされました。今後のDVDオーディオやSACDプレーヤなど、1394対応の新たなオーディオ機器はASIDにも対応可能となります。

ASID規格は、IFPI、RIAA及び当協会各技術委員会の連携した検討により今後も改良されていく予定です。バージョン1.0規格（現在英語版のみ）は、RIAJウェブサイトからもPDFファイルで入手可能です。

<http://riaj.japan-music.or.jp/tech/asid/e.html>

*機器間を接続する高速インタフェースの規格で、デジタルビデオなどにおいて既に対応済み

容器包装識別表示仕様DVD共通ステッカ

7月13日（金）の当協会技術委員会（委員長・斉藤理事）において、容器包装識別表示仕様の「DVDオーデ

ィオ及びビデオ用共通ステッカ」が承認されました。

これは、当協会が制定する「DVDビデオの表示事項及び表示方法 暫定版（RIS 403）」（1996年10月11日制定）と「DVDオーディオの表示に関する運用基準」（1999年12月13日制定）の中で規定する「共通ステッカ」について、プラスチック製の容器包装の識別表示（「プラ」マーク）を追加し、容器包装識別表示仕様として作成したものです。

<補足説明>

本年4月1日から施行された資源有効利用促進法によって、再商品化義務のある容器包装に識別マークを表示すること（容器包装識別表示）が義務づけられました。

レコード産業では、CDやDVD等の外装部材であるキャラメル包装、シュリンクフィルム及びビニール袋等が識別表示の対象となります。

また、当協会では、本年5月10日付で「容器包装識別表示ガイドライン」を発行しています。外装部材が無地の場合、識別表示が省略できることから、このガイドラインでは外装部材にシール等を貼付する場合は、そのシール等にプラスチック製容器包装の識別マーク（「プラ」マーク）の表示を行うこととしています。

このため、ガイドラインに則り、当協会で規定しているDVDの共通ステッカに「プラ」マークを追加し、容器包装識別表示仕様のステッカを作成したものです。

なお、商品に識別表示仕様の共通ステッカを貼付する場合は、その他に貼付するシール等には、「プラ」マークの表示は不要となります。

図-1 識別表示仕様DVDオーディオ共通ステッカ



図-2 識別表示仕様DVDビデオ共通ステッカ



第4回Techno-Legal Forum (臨時)開催

8月29日(水) 当協会会議室において、当協会テクノロジーセンターと法務部の共催による「第4回Techno-Legal Forum」が開催されました。

当初8月度のフォーラムは休会の予定でしたが、店頭試聴機にCD試聴音源を提供するジャパンミュージックデータ(jmd)社が、ブイシク社に今秋から音源提供を開始することが決まり、急遽臨時に開催したものです。

今回のフォーラムは、ブイシク社の「通信ネットワーク活用型の音楽試聴システムについて」の1テーマのみであったのかかわらず、19社から60名を超える参

加者があり、CDの需要拡大につながる店頭試聴機に対する会員各社の期待の高さを示すものとなりました。

「第5回Techno-Legal Forum」は、9月26日(水)(14:00~17:00)に開催予定です。

第16回日本ゴールドディスク大賞授賞式開催日決定

当協会主催の第16回日本ゴールドディスク大賞授賞式が、2001年3月13日(水)に東京・渋谷区のNHKホールにて開催されます。授賞式では、今年も受賞アーティストによるライブ演奏が行われる予定です。

また、当日の授賞式の模様は、NHKで放送される予定です。

RIAA 2001年上半期の出荷実績発表

RIAA(アメリカ・レコード協会)は、8月20日、2001年上半期におけるレコード会社から国内の小売店などへの出荷実績(数量・金額)を発表しました。これによると上半期の出荷は数量、金額ともに前年同期を下回っています。

発表によると、金額は、2000年の上半期の62億ドルから59億ドルと、4.4%減少しています。数量も、前年同期の4億8,870万枚(巻)から4億4,270万枚(巻)と、9.4%減少しています。

RIAAのヒラリー・ローゼン会長は以下のように語りました。

「消費者が海賊版でなく正規品を求める傾向は相変わらず強いものであり、われわれレコード産業は消費者のニーズに見合った質の高い商品を作っていく義務がある。またわれわれは、消費者のオンラインでの音楽購入に対する要望が増えている事実も認識しており、すでに合法的な会員向けサービスなども含めたさまざまな切り口での実験を行っている。消費者の要望に応えるべく常に努力をしているのである。

下半期には数々のビッグ・アーティストの新譜発売も予定されており、年度末には大幅な増加の報告が出来ることを確信している。」

報告のポイントは以下のとおりです。

2001年上半期出荷実績の概要

CDの出荷量は減少しているが依然として一番人気の高いフォーマットである。

CDアルバムは出荷数で前年同期より5.3%減少。これを金額に換算すると55億ドルとなる。金額でも前年同期より2.7%減少している。

CDは依然として一番人気の高いフォーマットであり、市場に出荷される全商品に占める割合は前年同期の86%から約90%へと増加している。

DVDビデオは、すでにすべてのビデオフォーマットの中で最も高い人気を得ているが、出荷量にもその人気

が反映されている。DVDミュージックビデオの出荷量は、前年同期比で115.9%と増加しており、数量では3百万巻となっている。

ミュージックビデオ全体では、前年同期の3,520万ドルから99.2%増加し、7千万ドルの市場となっている。

カセットの出荷は著しく減少している。

カセットの出荷は、前年同期に比べ、数量で42.9%、金額で41.9%(176万ドル)減少している。

アナログの出荷の全体に占める割合は相変わらず低いが、徐々に増加しており、人気回復していることがうかがえる。

アナログレコードは2001年上半期、販売数量で7.4%増加し、金額で1,290万ドルとなっている。この金額は前年同期比で3.3%増加している。

シングル及びアルバムの出荷はかなり減少している。

アナログ、カセット、CDシングルの出荷は、数量で38.3%、金額で7千万ドルへと共に減少しており、前年同期と比較すると24.9%の減少となっている。

アルバムの出荷も、数量で8.4%、金額で5億7千万ドルへと同じく減少しており、これは前年同期比で4.7%減となる。

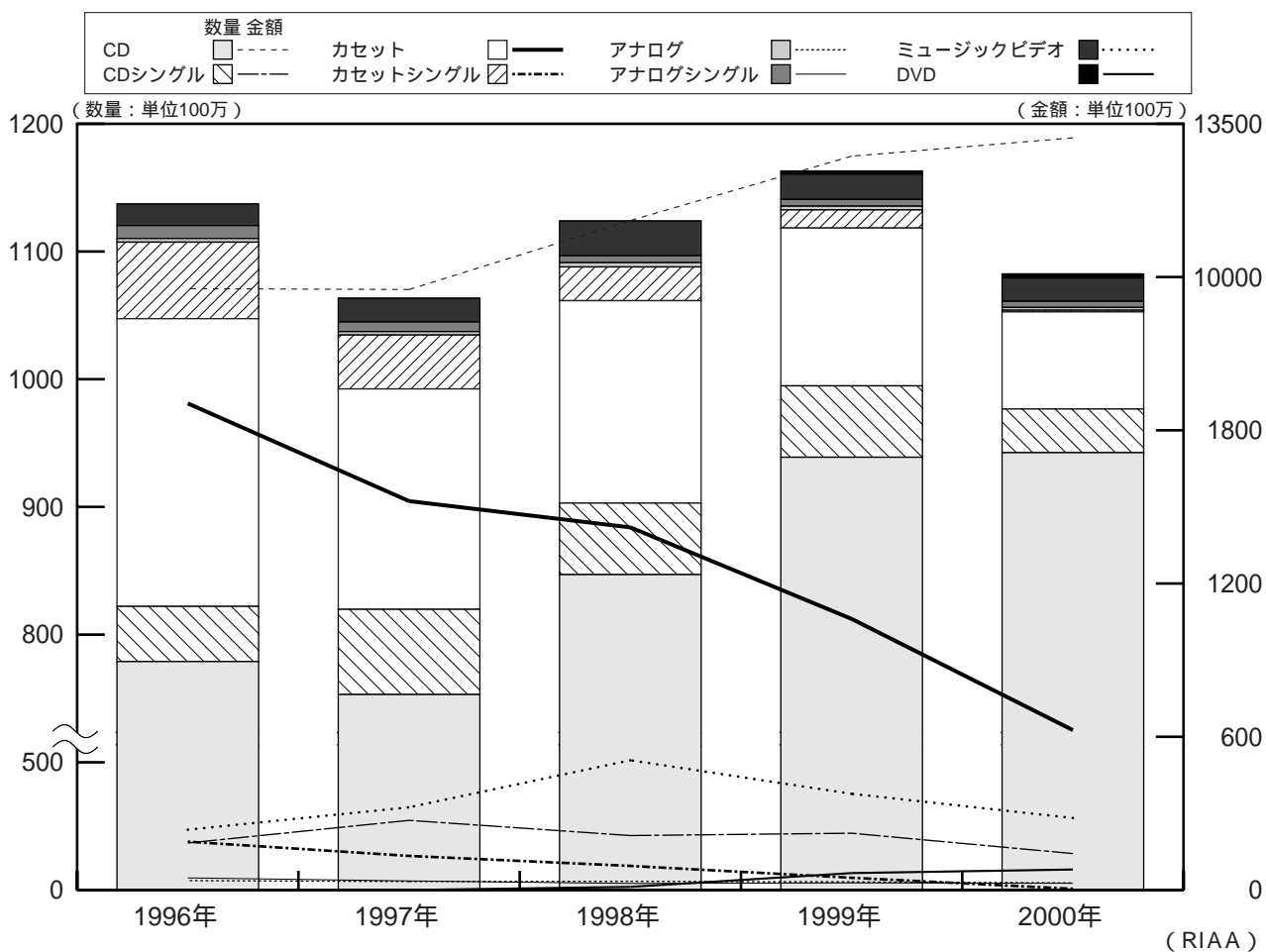
ローゼン会長はまた、「CD-Rの普及については、音楽産業のほとんどが懸念しており、更なる分析が必要だと思っている。RIAAが実施したオンラインミュージックサイトの愛好者を対象とした調査によると、ほぼ二人に一人が過去一ヶ月間に音楽をダウンロードし、うち約70%がその音楽をCD-Rに焼き付けたという結果が報告されている。この結果は、このような行為は音楽が好きであるがゆえに行われているものであるということと共に、違法行為が行われないようにするための法的保護手段と、合法的にオンラインミュージックを入手出来るような仕組みの構築が必要とされていることを示している」と語りました。

2001年 上半期統計

		2000年 1～6月		2001年 1～6月		前年同期比(2001年)	
形態		数量 (百万)	金額 (百万ドル)	数量 (百万)	金額 (百万ドル)	数量 (百万)	金額 (百万ドル)
C	D	420.0	5,681.2	397.9	5,528.0	-5.3	-2.7
カ	セ	38.6	303.2	22.0	176.0	-42.9	-41.9
ア	ナ	1.0	12.4	1.0	12.9	7.4	3.3
C	D	19.4	77.4	11.7	55.6	-39.5	-28.2
カ	セ	1.0	3.5	-0.8	-2.9	-181.0	-182.8
ア	ナ	2.3	12.5	3.1	17.3	30.9	38.8
ミ	ュ	5.1	68.6	4.8	65.5	-5.9	-4.0
D	V	1.4	35.2	3.0	70.1	115.9	99.2
合	計	488.7	6,194.0	442.7	5,922.9	-9.4%	-4.4%

(RIAA)

1996～2000年 出荷実績の推移



2001年ミリオンセラ

MILLION SELLER in

ALBUM & SING

ALBUM

注：以下は、アーティスト50音順です

夏服



aiko

2001.06.20
(PC)

Distance



宇多田ヒカル

2001.03.28
(TO)

4 FORCE



**Every
Little
Thing**

2001.03.22
(AVT)

インソムニア



鬼束ちひろ

2001.03.07
(TO)

Perfect Crime



倉木麻衣

2001.07.04
(GZ)

ラヴ・ノーツ



ゴスペラーズ

2001.06.06
(SME)

WARP



**JUDY
AND
MARY**

2001.02.07
(SME)

Smap Vest



SMAP

2001.03.23
(V)

Da Best of Da Pump



**DA
PUMP**

2001.02.28
(AVT)

A BEST



浜崎あゆみ

2001.03.28
(AVT)

gaining through losing



平井堅

2001.07.04
(DF)

f



福山雅治

2001.04.25
(UM)

'00 2/1
~ '00 7/30

当協会では、一定基準枚数以上の売り上げを達成した作品の認定を行っています。
そのデータを基に2001年上半期のミリオンセラーをご紹介します。
作品は、期間中に発売され、期間中にミリオンに達したものです。

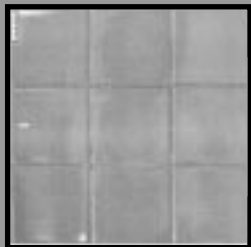
2001

LE

発売元

AR: アンティノスレコード / AVT: エイベックス / BG: ビーグラムレ
ーズ / BM: ルームスレコーズ / BMG: BMGファンハウス / C: 日本コロ
ムビア / CR: 日本クラウン / CT: カッティング・エッジ / DF: デフスタ
ーレコーズ / EP: ゼティマ / EW: イーストウエスト・ジャパン / FL: フォーライフレコード / GZ: ギザ /
JE: ジャニーズ・エンタテインメント / JF: J-FRIENDS P. / K: キングレコード / PAR: プライエイド・レ
ーズ / PC: ポニーキャニオン / PI: バイオニアLDC / PS: ポリスター / PZ: ビザ・オブ・デス・レコーズ
/ RR: ロードランナー・ジャパン / SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント / SN: SENHA & CO.
/ TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズ・ファクトリー / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーション
ズ / TO: 東芝EMI / TRI: トライエム / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント
/ VAP: バップ / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン / ZA: ツインレコーズ

foo?



ポルノグラフィティ
2001.02.28
(SME)

MARVELOUS



MISIA
2001.04.25
(BMG)



Mr.Children 1992-1995



Mr.Children
2001.07.11
(TF)

Mr.Children 1996-2000



Mr.Children
2001.07.11
(TF)

Clicked Singles Best 13



L'Arc-en-Ciel
2001.03.14
(SME)

SINGLE

Can You Keep A Secret?



宇多田ヒカル
2001.02.16
(TO)

波乗りジョニー



桑田佳祐
2001.07.04
(V)

PIECES OF A DREAM



CHEMISTRY
2001.02.15
(DF)

ALBUM

小計 **17** 作品
(昨年同期小計 9 作品)

SINGLE

小計 **3** 作品
(昨年同期小計 7 作品)

合計

小計 **20** 作品
(昨年同期小計 16 作品)

アルバム (16作品)

【邦 楽】

クワドラプル・プラチナ

Mr.Children 1992-1995 / Mr.Children /
2001.07.11 (TF)

トリプル・プラチナ

Perfect Crime / 倉木麻衣 / 2001.07.04 (GZ)
Mr.Children 1996-2000 / Mr.Children /
2001.07.11 (TF)

ミリオン

夏服 / aiko / 2001.06.20 (PC)

gaining through losing / 平井堅 / 2001.07.04
(DF)

プラチナ

Lifetime Respect / 三木道三 / 2001.07.25
(TJC)

E album / KinKi Kids / 2001.07.25 (JE)

ゴールド

宮崎アニメ ザ・ベスト / オムニバス / 1993.12.21
(TJC)

空SORA / 長瀬剛 / 2001.06.27 (FL)

transition / 山崎まさよし / 2001.06.27 (UM)

マドリガル / Chara / 2001.07.18 (SME)

Soul Surfin' Crew / TUBE / 2001.07.18 (SME)

歌時記~ふたりのビッグ(エッグ)ショー篇/ゆず/
2001.07.18 (SN)

【洋 楽】

プラチナ

セルマ・ソングス~ミュージック・フロム・ダンサー・イン・ザ・ダーク / ビョーク / 2000.08.30
(UM)

スーパースターズ / マドンナ、エンヤ、エリック・クラプトン、アバ他 / 2001.06.20 (WJ)

ゴールド

ラッシュアワー 2 / サウンドトラック /
2001.07.28 (UM)

シングル (17作品)

【邦 楽】

ミリオン

波乗りジョニー / 桑田佳祐 / 2001.07.04 (V)

ダブルプラチナ

Lifetime Respect / 三木道三 / 2001.05.23
(TJC)アゲハ蝶 / ポルノグラフィティ / 2001.06.27
(SME)

プラチナ

Look Back Again Over The Distance / 矢井田
瞳 / 2001.06.27 (TO)

STAY TUNED / GLAY / 2001.07.04 (PC)

UNITE! / 浜崎あゆみ / 2001.07.11 (AVT)

FINAL DISTANCE / 宇多田ヒカル /
2001.07.25 (TO)ザ ピース! / モーニング娘。 / 2001.07.25
(EP)

ゴールド

なにわの女 / 川中美幸 / 2000.01.21 (TE)

おとととと夏だぜ! / EE JUMP / 2001.05.16
(TF)

Best Friend / Kiroro / 2001.06.06 (V)

深い森 / Do As Infinity / 2001.06.27 (AVT)

Feel The Fate / w-inds. / 2001.07.04 (PC)

Steppin' and Shakin' / DA PUMP /
2001.07.11 (AVT)いつのまに / DREAMS COME TRUE /
2001.07.18 (TO)

Stay Gold / Steady & Co. / 2001.07.18 (WJ)

Smac / SMAP / 2001.07.28 (V)

AR: アンティノスレコード / AVT: エイベックス / BG: ビーグラムレコーズ / BM: ルームスレコーズ / BMG: BMGファンハウス / C: 日本コロムビア / CR: 日本クラウン / CT: カッティング・エッジ / DF: デフスターレコーズ / EP: ゼティマ / EW: イーストウエスト・ジャパン / FL: フォーライフレコード / GZ: ギザ / JE: ジャニーズ・エンタテインメント / JF: J-FRIENDS P. / K: キングレコード / PAR: プライエイド・レコーズ / PC: ポニーキャニオン / PI: パイオニアLDC / PS: ポリスター / PZ: ピザ・オブ・デス・レコーズ / RR: ロードランナー・ジャパン / SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント / SN: SENHA & CO. / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズ・ファクトリー / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / TO: 東芝EMI / TRI: トライエム / UM: ユニバーサルミュージック / V: ピクチャーエンタテインメント / VAP: バップ / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン / ZA: ツアインレコーズ

世界の話題

米裁判所、放送事業者にインターネット上での音楽のストリーミング使用に関する使用料の支払いの判決

アメリカの裁判所において、インターネット上での音楽のウェブキャストおよびストリーミングに関し、放送事業者は、レコード製作者に対して使用料を支払わなければならないとする判決が下されました。IFPIはこの判決を歓迎しています。

この判決は、8月1日、ペンシルバニア州東部地区連邦地方裁判所で下されました。インターネットラジオ放送は従来の放送とは全く別のものであるという認識が裁判所でなされたのはこれが初めてであり、重要な判例であるといえます。アメリカでは、実際は楽曲を使用することによって、聴衆の関心を集め、安定した利益をあげているにも関わらず、諸外国とは異なり、放送での楽曲使用の際に放送事業者がレコード製作者に使用料を支払わないという慣行が確立していました。

裁判所は、とりわけ、インターネットストリーミングのグローバルな側面に着目し、またインターネット上からの高音質で音楽のコピーから権利者を守る必要があることから、放送事業者に対する伝統的な手ぬるいルールは適用できないと判断し、以下のように述べました。

AMおよびFM放送局によるインターネットストリーミングは通常の放送とは全く違うものである。これは、従来の放送は地域が限定されているのに対し、インターネット放送は全世界な性格によることと、従来の放送がアナログ方式なのに対し、インターネットはデジタル方式での伝送であるために、明らかに高品質の複製物を作る可能性を拡大することによる。

IFPIの総合法律顧問と執行役員を務めるアレク・ティクソン氏は、「技術、実体、法的側面、いずれの見地から考えても、ストリーミングは放送とは別のものである。この重要な事実を踏まえ、今回の判決は、今後レコード業界が新しい且つ真に地球規模での許諾方式の開発を継続することと、インターネット上に適法なeコマースを確立していくことを容易にするものである」と語っています。

背景

2000年12月、米・著作権局は、これまで、地上波での放送に関して楽曲使用料の支払いを免除されてきたAM/FMの放送事業者に対し、インターネットを通じてデジタル方式によ

て音楽を伝送(ストリーム)する際には支払いを免除されない旨の判断を下した。これに対しNAB(全米放送事業者協会、放送事業者6社で構成される)は、著作権局に対して訴訟を提起した。IFPIはRIAAに協力し、著作権局側に立って被告団として訴訟参加している。(RIAA)

イギリスの音楽市場依然好調

不景気が続いているイギリスですが、音楽市場だけは例外のようです。

BPI(イギリスレコード協会)がこの度発表した2001年第2四半期のオーディオレコード出荷実績にもそれが如実に表れています。4-6月期の総出荷金額は前年同期比で14.1%増加しており、2億5,460万ポンド(3億6,200万ドル)となっています。BPIは今年上半期について「例のないほど素晴らしい上半期」であると語りました。

シングルは不調でしたが、アルバムの売上金額は昨年同期比で17.9%増加し2億2,780万ポンド(3億2,400万ドル)、数量でも8.9%増の4,610万枚(巻)となっています。今年上半期にはビッグアーティストの新譜発売が続いたことも好影響し、この時期の数字としては過去最高を記録しています。

IFPI市場調査担当のキース・ジョプリン氏は、この音楽市場の好景気には、イギリス内に強力で大きな小売店が多いことが大きく影響していると語っています。HMV、ヴァージン、タワーなどの大型店は同国内で業績を伸ばしていますが、プロモーション方法が革新的であり、最新のCDが手ごろな価格で購入可能であることなどを、同氏は躍進の要因としています。

イギリスでは下半期にも強力タイトルの発売を控えていることから、年度末にはもっとよい数字が期待できると同氏は予測しています。また、上半期の好調の原因として「この時期、ヨーロッパ全土の不況がイギリスにはあまり影響を及ぼさなかったこと」、「ヨーロッパ全土で大きな問題となっているCD-Rによる家庭内複製がイギリスではまだそれほど顕著ではないこと」などを付け加えました。

ヨーロッパの他の国々はイギリスと対症的な状況で、2000年の音楽市場を前年と比較すると、イギリスが3.3%伸びたのに対し、ドイツは前年比1.2%の減少、フランスも同じような状況で、スペインが1.8%の微増を示したにとどまっています。

(ビルボード01/08/25)

会議メモ(主なもの)

(8月1日~8月31日)

- 8・3 人権問題研修会
- 8・7 日本ゴールドディスク大会実行委員会
- 8・10 レコード制作基準倫理委員会
- 8・17 インターネット廃盤セールプロジェクト

- 8・20 営業部会
- 8・22 著作物中古問題研究会
洋楽宣伝専門部会
- 8・23 CSM-WG
業務委員会
インターネット部会
- 8・24 労政研修会
ビデオ部会
- 8・27 60周年委員会
RIAJ21プロジェクト

- 8・28 法制委員会
デジタル音楽情報委員会
- 8・29 臨時Techno-Legal Forum
EDI説明会
DISWG
宣伝部会



レコード生産実績

2001年7月度(01年7月1日～01年7月31日)

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	7月実績							2001年(1月～7月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	915	3	78	305	1	55	5,212	2	26	2,345	1	22
		洋	2	0	6	1	0	5	506	0	438	41	0	53
		計	917	3	76	306	1	54	5,718	2	29	2,386	1	23
	12cm CD	邦	10,395	30	102	7,503	18	94	60,120	26	100	46,196	15	98
		洋	169	0	314	147	0	300	705	0	132	570	0	124
		計	10,564	30	103	7,650	18	95	60,824	27	101	46,766	15	98
小計	邦	11,311	32	99	7,808	18	91	65,332	28	82	48,540	16	84	
	洋	170	0	209	148	0	218	1,210	1	187	611	0	113	
	計	11,481	33	100	7,956	19	92	66,542	29	83	49,152	16	85	
12cmCD アルバム	邦	16,638	47	110	25,832	61	111	112,183	49	96	189,571	62	100	
	洋	5,659	16	124	7,722	18	115	41,014	18	105	58,500	19	103	
	計	22,297	64	113	33,554	79	112	153,196	67	98	248,071	81	101	
CD 合計	邦	27,948	80	105	33,640	79	106	177,515	77	90	238,111	78	96	
	洋	5,830	17	126	7,870	18	117	42,224	18	106	59,111	19	103	
	計	33,778	96	108	41,510	98	108	219,738	96	93	297,223	97	98	
アナログ ディスク	邦	145	0	70	153	0	75	765	0	70	804	0	73	
	洋	14	0	59	13	0	52	123	0	64	141	0	49	
	計	159	0	69	167	0	72	888	0	69	945	0	68	
カセット テープ	邦	1,151	3	98	892	2	101	8,810	4	88	7,016	2	90	
	洋	3	0	98	2	0	93	35	0	57	27	0	51	
	計	1,154	3	98	895	2	101	8,845	4	88	7,043	2	90	
総合計	邦	29,244	83	105	34,686	81	106	187,090	82	90	245,932	81	96	
	洋	5,847	17	126	7,886	19	116	42,381	18	106	59,279	19	103	
	計	35,091	100	108	42,572	100	108	229,471	100	93	305,211	100	97	

表2. ビデオレコード

	7月実績							2001年(1月～7月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
DVD	4,116	75	170	5,994	55	110	19,351	65	176	39,361	51	158		
LD・その他	165	3	77	252	2	63	1,324	4	64	2,250	3	53		
テープ	1,178	22	57	4,661	43	77	9,216	31	74	35,675	46	88		
合計	5,460	100	116	10,906	100	92	29,890	100	117	77,286	100	111		

表3. オーディオ/ビデオ合計

	7月実績							2001年(1月～7月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
オーディオ	35,091	87	108	42,572	80	108	229,471	88	93	305,211	80	97		
ビデオ	5,460	13	116	10,906	20	92	29,890	12	117	77,286	20	111		
合計	40,551	100	109	53,478	100	104	259,361	100	95	382,497	100	100		

<参考>表4. 複合型CD(CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	7月実績							2001年(1月～7月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
邦盤	11,509	100	69	2,045	100	115	77,952	100	77	12,886	100	114		
洋盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	11,509	100	69	2,045	100	115	77,952	100	77	12,886	100	114		

備考 1. 本年実績は、会員会社「23社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオディスクレコードの輸出入状況

本号は、2001年上期（1～6月）のアナログディスクとCDの輸出入実績を紹介しします。
資料：財務省関税局「日本貿易統計」（通関実績）

表1 アナログディスクとCDの輸出入実績（2001年1～6月）

	輸 出				輸 入			
	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比
コンパクトディスク	3,577	251	1,475	85	28,669	111	11,893	116
アナログディスク	10	127	6	63	4,709	100	2,579	104
計	3,587	251	1,481	85	33,378	129	14,473	113

表2 アナログディスクとCDの地域別輸出入実績（2001年1～6月）

数量:千枚、金額:百万円、()内は対前年比

国 名		輸 出			輸 入		
		アナログディスク	C D	計	アナログディスク	C D	計
アメリカ	数量	1 (66)	411 (100)	412 (100)	2,884 (105)	4,676 (89)	7,560 (95)
	金額	1 (30)	545 (86)	546 (85)	1,543 (117)	3,718 (102)	5,261 (106)
イギリス	数量	2 (52)	40 (105)	42 (100)	1,198 (84)	2,338 (147)	3,536 (117)
	金額	2 (50)	50 (92)	52 (89)	740 (83)	1,752 (139)	2,492 (116)
ドイツ	数量	- (-)	35 (66)	35 (66)	202 (126)	3,447 (126)	3,649 (126)
	金額	- (-)	38 (76)	38 (76)	115 (138)	2,089 (140)	2,204 (140)
オランダ	数量	- (-)	132 (487)	132 (487)	34 (172)	1,272 (87)	1,306 (88)
	金額	- (-)	86 (238)	86 (238)	19 (171)	754 (101)	774 (102)
フランス	数量	1 (77)	49 (65)	50 (66)	72 (93)	346 (117)	418 (112)
	金額	1 (81)	57 (51)	58 (51)	50 (102)	248 (123)	298 (119)
イタリア	数量	- (-)	6 (89)	6 (87)	92 (62)	347 (154)	439 (117)
	金額	- (-)	9 (96)	9 (94)	49 (70)	140 (139)	189 (111)
オーストリア	数量	- (-)	3 (110)	3 (110)	- (-)	113 (91)	113 (91)
	金額	- (-)	4 (100)	4 (100)	- (-)	45 (80)	45 (80)
韓国	数量	- (-)	18 (42)	18 (42)	- (-)	1,814 (60)	1,814 (60)
	金額	- (-)	43 (45)	43 (45)	- (-)	113 (81)	113 (81)
台湾	数量	2 (959)	196 (94)	198 (95)	- (-)	5,976 (265)	5,976 (265)
	金額	2 (763)	160 (92)	162 (93)	- (-)	800 (318)	800 (318)
香港	数量	- (-)	2,586 (767)	2,586 (767)	- (-)	2,121 (34)	2,121 (34)
	金額	- (-)	266 (70)	266 (70)	- (-)	423 (54)	423 (54)
シンガポール	数量	- (-)	37 (90)	37 (90)	- (-)	4,039 (424)	4,039 (424)
	金額	- (-)	87 (150)	87 (150)	- (-)	450 (118)	450 (118)
中国	数量	- (-)	1 (182)	1 (182)	- (-)	383 (426)	383 (426)
	金額	- (-)	9 (283)	9 (283)	- (-)	19 (203)	19 (203)
フィリピン	数量	- (-)	11 (95)	11 (95)	- (-)	41 (5159)	41 (5159)
	金額	- (-)	9 (630)	9 (630)	- (-)	13 (1691)	13 (1691)
タイ	数量	- (-)	1 (10)	1 (10)	- (-)	122 (182)	122 (182)
	金額	- (-)	10 (56)	10 (56)	- (-)	114 (1535)	114 (1535)
イスラエル	数量	- (-)	- (16)	- (16)	- (-)	4 (431)	4 (431)
	金額	- (-)	1 (73)	1 (73)	- (-)	5 (564)	5 (564)
カナダ	数量	- (-)	7 (105)	7 (105)	6 (46)	537 (81)	542 (81)
	金額	- (-)	10 (109)	10 (109)	2 (42)	587 (88)	589 (87)
ブラジル	数量	- (-)	1 (87)	1 (87)	- (-)	288 (84)	289 (84)
	金額	- (-)	2 (49)	2 (49)	- (-)	246 (89)	246 (89)
オーストラリア	数量	- (-)	17 (138)	17 (138)	1 (257)	103 (106)	105 (107)
	金額	- (-)	19 (157)	19 (157)	2 (426)	62 (162)	64 (165)
その他	数量	4 (-)	26 (20)	30 (23)	219 (167)	701 (129)	921 (137)
	金額	- (-)	70 (90)	71 (90)	58 (149)	317 (127)	375 (130)
合計	数量	10 (127)	3,577 (251)	3,587 (251)	4,709 (100)	28,669 (111)	33,378 (129)
	金額	6 (63)	1,475 (85)	1,481 (85)	2,579 (104)	11,893 (116)	14,473 (113)

- (注) 1. 輸出入実績は、委託加工品（OEM）を含む。
2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約から直接輸入した数量は、約24%と推定される。
3. 数量は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。